

試合番号 : 266		試合会場 : 国立代々木競技場第二体育館				観客数 : 2,120	
開始時間 : 14:00		終了時間 : 16:11		試合時間 : 02:11		主審 : 木内 誠二	
副審 : 高橋 宏明		東京グレートベアーズ		通算 10勝 24敗 ポイント : 31		VC長野トライデンツ	
監督コメント		3		1		監督コメント	
要約レポート		16 第1セット 25		28 第2セット 26		3勝 31敗 ポイント : 13	
		25 第3セット 23		25 第4セット 21			
				第5セット			
<p>ホームゲーム最終日を連勝で飾りたい東京グレートベアーズと昨日の悔しさをバネに1勝でも勝ちを取りたいVC長野トライデンツとの対戦。</p> <p>第1セット前半、攻守に安定感を見せるVC長野がリードする。追いつきたい東京GBだが、なかなかゲームを組立てられず、今橋の意表を突くツアタックで奮起するも、VC長野の工藤、アラウジョがアタックで攻め込み、VC長野が先取した。</p> <p>第2セットはスタートから東京GBはアラウジョ、戸島の攻撃で連続得点を重ねるが、工藤、アラウジョが息もつかせぬアタックでVC長野が逆転する。東京GBは途中交代した長友、栗山、笠川の活躍で追いつき、その後は一進一退の攻防が続く。ミスが許されないプレッシャーの中、見事に勝ち抜いた長友のアタックが決まり、東京GBがセットを奪い返した。</p> <p>第3セットはスタートから長友のサービスエース、今橋のブロック、戸島のフェイントが決まり勢いになる東京GBがリードする。追いつきたいVC長野だが、ミスが続きなかなかリズムを取り戻せない。勢いがとまらない東京GBは山田、長友の攻撃がはまり、VC長野の三輪のブロック、波佐間のサービスエースで追いつけるVC長野を振り切りセットを連取した。</p> <p>第4セット、勢いが止まらない東京GB長友のアタックとサービスエースが立て続けに決まり、東京GBが一歩リードする。1勝をあげたいVC長野は落とせないこのセット、アラウジョ、工藤の両輪の活躍で追いつき、両チーム譲らないまま後半を迎える。ここで本日絶好調の長友のサービスエース、アタックが決まり、東京GBがホームゲーム最終日、満員の観客を前に勝利した。</p>							
試合番号 : 267		試合会場 : ウィングアリーナ刈谷				観客数 : 2,250	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:29		試合時間 : 01:29		主審 : 戸川 太輔	
副審 : 澤 達大		ジェイテクトSTINGS		通算 20勝 14敗 ポイント : 64		大分三好ヴァイセアドラー	
監督コメント		3		0		監督コメント	
要約レポート		25 第1セット 21		25 第2セット 17		5勝 29敗 ポイント : 14	
		25 第3セット 20		第4セット			
				第5セット			
<p>ジェイテクトSTINGSのホーム最終戦に大分三好ヴァイセアドラーを迎えるの一戦。</p> <p>第1セット、大分三好が2-1から川口、モゲニの連続ブロックで序盤をリードする。中盤以降、ジェイテクトは藤中のアタックや、大分三好モゲニのスパイクをウルナウトが1枚ブロックで止め、逆転に成功しセットを先取した。</p> <p>第2セット、序盤ジェイテクトのリードで試合が進む。大分三好はすぐにメンバーチェンジで伊藤、古賀を投入、この2人のコンビがチームを牽引し、古賀がこのセットチーム最多得点し追い上げを見せる。ジェイテクトはセッター河東の的確なトスが都築が強烈なアタックを決め、このセットもジェイテクトが連取した。</p> <p>第3セット、大分三好7-11から、このセットスターティングメンバーに入った山田がブロック、次のラリーでは強烈なアタックを決め最大5点のビハインドを2点差まで縮めた。しかしジェイテクト藤中がアタックを決め、サーブでは2本連続でノータッチのサービスエースを決め、再び点差を広げる。最後は西田がアタックを決め、今シーズン最後のホームゲームを連勝で飾った。</p>							
試合番号 : 269		試合会場 : パナソニックアリーナ				観客数 : 2,510	
開始時間 : 14:02		終了時間 : 16:10		試合時間 : 02:08		主審 : 浅井 唯由	
副審 : 富田 博一		パナソニックパンサーズ		通算 22勝 12敗 ポイント : 71		堺ブレイザーズ	
監督コメント		2		3		監督コメント	
要約レポート		22 第1セット 25		25 第2セット 20		22勝 12敗 ポイント : 65	
		25 第3セット 27		25 第4セット 16			
				13 第5セット 15			
<p>V・ファイナルステージ進出をかけた、勝利したい両チーム。</p> <p>第1セット、パナソニックパンサーズは山内や清水、クビアクのスパイクで4連続得点を上げ流れを掴むと終始リードする。対する堺ブレイザーズは、バーノンや迫田のスパイクで応戦し追い上げを見せると、バーノンや竹元のブロックが決まり逆転に成功。その勢いのまま堺が先取する。</p> <p>第2セット、中盤まで一進一退の攻防が続く中、パナソニックはエバダンのサービスエースで抜け出すと途中出場の西山のブロックやスパイクが要所で決まり、セットを奪取する。</p> <p>第3セット、パナソニックはスターティングメンバーに起用された西山が、スパイクやサービスエースで得点を重ねる。一方の堺は、リベロを中心とした拾って繋ぐ全員バレーで高野やバーノンにボールを集め、デュースまでもつれ込む展開となり、最後はバーノンの連続スパイクが決まり堺がこのセットをものにす。</p> <p>第4セット、後がないパナソニックは西山や波辺の力強いスパイク、波辺とエバダンの連続ブロックなどで一気に突き放すと、セットカウント2-2のタイに戻した。</p> <p>第5セット、両チーム一歩も譲らない展開の中、深津のブロックで再度流れを引き寄せた堺は、高野の好リレーや竹元のブロックで一気に突き放す。対するパナソニックも西山のスパイクやサービスエースで追い上げを見せるも、最後はバーノンのバックアタックが決まり堺が大接戦を制した。</p>							
試合番号 : 270		試合会場 : 沼津市総合体育館				観客数 : 2,098	
開始時間 : 14:00		終了時間 : 16:06		試合時間 : 02:06		主審 : 桑原 健輔	
副審 : 村中 伸		東レアローズ		通算 22勝 12敗 ポイント : 60		JTサンダーズ広島	
監督コメント		3		1		監督コメント	
要約レポート		25 第1セット 20		23 第2セット 25		16勝 18敗 ポイント : 50	
		25 第3セット 22		25 第4セット 21			
				第5セット			
<p>今日の試合はファイナル4に向けて負けられないプレッシャーのかかる中、選手達がそのプレッシャーに打ち勝ち、勝利出来たことはとても良かったと思います。</p> <p>来週、リレーラウンド最終週ですので、これまでやってきたことをすべて出し尽くせるよう準備して参ります。</p> <p>2日間、たくさんの応援ありがとうございました。</p> <p>昨日は第4セットで41分間の激闘を繰り広げた、東レアローズとJTサンダーズ広島の両チーム、本日の東レホーム最終戦は、満員のファンが見守る試合となった。</p> <p>第1セット、東レは富田、小澤を中心にJT広島のブロックをかかわって得点を重ねる。対するJT広島は、好リレーから粘り強く切り返し小野寺、ラッセルがスパイクを決めていく。終盤、富田が2連続でサービスエースを決め、東レがこのセットを奪取した。</p> <p>第2セット、東レは要所で高橋が相手のスパイクをブロックし、流れを引き込む。JT広島はラッセル、武智が好リレーからの攻撃をものにし、21-21と追いつく。終盤、小野寺が相手のフェイントを渾身のブロックで得点し、そのまま流れに乗ったJT広島がこのセットを取り返した。</p> <p>第3セット、両チーム譲らないサイドアウトの応酬で1点差の展開が続く。東レはバダルにボールを集めて着実に加点して徐々に引き離していく。JT広島は要所で3枚ブロックが機能し、東レの攻撃を阻止して詰め寄る。最後は東レ高橋がブロックポイントを決めてこのセットを奪い、セットカウントで一歩リードした。</p> <p>第4セット、東レが山口、酒井の好リレーとバダル、高橋のブロックポイントでリードする。JT広島はテクニカルタイムアウト明けから金子のサーブで攻勢に転じ、6連続得点をし互角の展開に引き戻す。終盤、東レ酒井のトスがブロックの壁を崩して得点を重ね、最後は富田の精神一倒を感じさせるサーブが相手を崩し、東レが勝利した。</p>							